

第1回定例会

区政をただす

一般質問

区役所・サンプラザ地区再整備を着実に推進せよ

自由民主党議員団 市川 みのる



区役所・サンプラザ地区再整備基本構想の構成案が示された。①新北口駅前広場上空を活用し、建物と交通広場を一体化して配置し、街区北側にオープンスペースを設けるなど大胆な発想はできないか。②西口改札整備や駅ビル建設に対するJRへの働きかけは。

区長 ①従前の施設配置や街区構成にこだわらず検討を進め最適な配置としていきたい。②西口改札整備は具体的な事業化に向けた協議を行っている。駅ビルは、まち全体の回遊性、利便性向上という観点から協議を進めていく。

指す「健康福祉都市なかの」実現に向けた区の取り組みは。区長 健康実施期間の延長などにより区民の利便性の向上を図るほか、新たに胃がんハイリスク診査や、5歳児対象の歯科健診を実施する。

交通安全啓発に積極的支援を。交通安全の啓発活動などに積極的に取り組んでいる中野・野方交通安全協会に対し、積極的な支援を行うべきでは。区長 交通安全協会が実施する小学生・高齢者対象の自転車安全利用講習会で交付する「自転車安全運転宣言シール」の作成経費を助成する。

区民の健康増進を目指せ。区民、関係団体と協力し目の。区長 ①中野四季の都市のインパクトを活かす上でも区内定住は必要であり、デジタルサイネージの活用も検討したい。②まちの魅力の向上・発信が大切であり、都市観光推進など方策を進めていきたい。③産学公の交流会などを通じて行っていきたい。

国民健康保険料値上げに対する財政措置を求めよ。4月から国保料を値上げする案が報道された。所得が減っている中、保険料の滞納に拍車がかかる。支払い可能な許取得のために研修体制の整備が必要では。②学校ごとに校長の自覚や認識に温度差がある。リーダーシップを発揮させるための支援が必要では。区長 ①研究活動の支援や研修などにより教員育成を図っており、これらを通じて免許取得の勧奨などを行っていく。②2か年にわたって学

区職員の一人一人の根底からの意識改革を行使せよ。区の方針に対し、組織一体となって実践することが大切だ。①職員一人一人の根底からの意識改革を行うべきでは。②外部評価制度は見えづら

地方公務員給与の削減を。政府は平均7・8%の削減を求めているが、自立した自治体を目指す区の見直しは。区長 ただちに見直すべきとは考えておらず、必要となれば考えることもあり得る。

区民要望に応える 区の姿勢を示せ

日本共産党議員団 岩永 しほ子



当議員団は11月末に区民アンケートを実施した。前年より負担が増えたとの回答は7割に上り、国民健康保険や介護保険料の引き下げ、特養ホーム増設、待機児解消などの区への要望・期待が示された。この声に応えるべきでは。区長 区民の声の一部として参考にする。

住民理解と合意に基づく 弥生町三丁目のまちづくりを。区は、不燃化特区に指定された三丁目周辺のまちづくりを先行するとしている。不燃化特区を重点的に実施するため、固定資産税の免除など支援策の制度案や、都市計画事業などで実施することに。区長 今後、学校医と連携しながら、医師会の協力を得て研修を実施していく。

いじめ・体罰への対応を問う。いじめや体罰を巡る議論が活発化している。教育委員会は、①いじめの未然防止対策としてアンケートを実施しているが、結果を事案の把握と対応だけでなく、いじめの発生する傾向の分析に活用しては。②相談体制として子ども110番を設置しているが、相談時間は平日9〜17時の学校で過ごしている時間である。統計的に相談機関への連絡が増える6月と11月の月曜及び金曜日は19時まで相談時間を延長するなど、部分的拡充を図っては。③体罰を根絶するために、教職員の意識を徹底する取り組みや被害を受けた生徒の相談体制を整えているのか。④体罰は重大な人権侵害であり絶対に許されないと

区職員の一人一人の根底からの意識改革を行使せよ。区の方針に対し、組織一体となって実践することが大切だ。①職員一人一人の根底からの意識改革を行うべきでは。②外部評価制度は見えづら

地方公務員給与の削減を。政府は平均7・8%の削減を求めているが、自立した自治体を目指す区の見直しは。区長 ただちに見直すべきとは考えておらず、必要となれば考えることもあり得る。

大学や企業と連携し 新たな中野の魅力を発信せよ

公明党議員団 やながわ 妙子



目標体系の見直しに併せた大幅な組織改正が行われ2年が経つ。①事業部制の実績や成果の検証・評価は。②職員2千人体制に向けた人が育つ組織づくりの方策は。③内部統制の実効性を高めるための発生主義会計の進捗状況は。

区長 ①新しい中野をつくる10か年計画第2次の主要プロジェクトは着実に推進され、また、PDCAサイクル

指す「健康福祉都市なかの」実現に向けた区の取り組みは。区長 健康実施期間の延長などにより区民の利便性の向上を図るほか、新たに胃がんハイリスク診査や、5歳児対象の歯科健診を実施する。

交通安全啓発に積極的支援を。交通安全の啓発活動などに積極的に取り組んでいる中野・野方交通安全協会に対し、積極的な支援を行うべきでは。区長 交通安全協会が実施する小学生・高齢者対象の自転車安全利用講習会で交付する「自転車安全運転宣言シール」の作成経費を助成する。

区民の健康増進を目指せ。区民、関係団体と協力し目の。区長 ①中野四季の都市のインパクトを活かす上でも区内定住は必要であり、デジタルサイネージの活用も検討したい。②まちの魅力の向上・発信が大切であり、都市観光推進など方策を進めていきたい。③産学公の交流会などを通じて行っていきたい。

国民健康保険料値上げに対する財政措置を求めよ。4月から国保料を値上げする案が報道された。所得が減っている中、保険料の滞納に拍車がかかる。支払い可能な許取得のために研修体制の整備が必要では。②学校ごとに校長の自覚や認識に温度差がある。リーダーシップを発揮させるための支援が必要では。区長 ①研究活動の支援や研修などにより教員育成を図っており、これらを通じて免許取得の勧奨などを行っていく。②2か年にわたって学

区職員の一人一人の根底からの意識改革を行使せよ。区の方針に対し、組織一体となって実践することが大切だ。①職員一人一人の根底からの意識改革を行うべきでは。②外部評価制度は見えづら

地方公務員給与の削減を。政府は平均7・8%の削減を求めているが、自立した自治体を目指す区の見直しは。区長 ただちに見直すべきとは考えておらず、必要となれば考えることもあり得る。

